

伊那市  
イメージキャラクター  
イーナちゃん

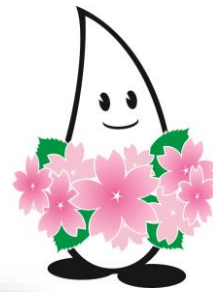
# 集落“再熱”実施モデル地区支援事業 伊那市新山地区の取り組み

平成29年3月15日

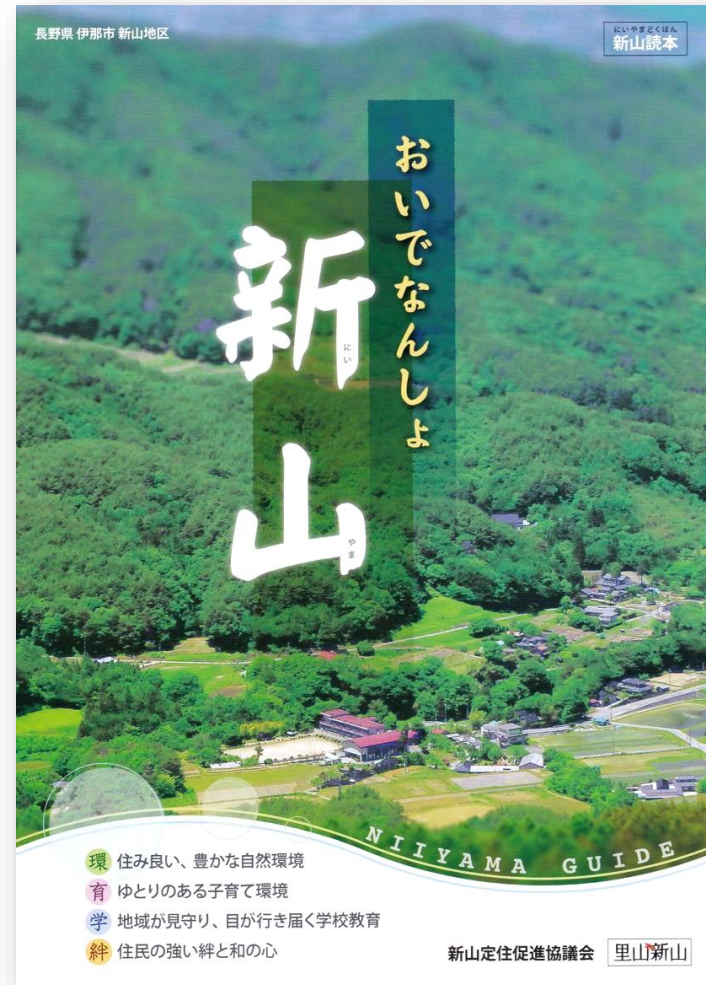
伊那市集落支援員 水口 航

伊那市総務部地域創造課

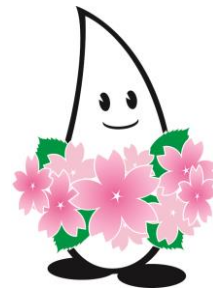
# 発表内容



1. 伊那市の取り組み紹介
2. 新山地区の紹介と事業採択までの取り組み
3. “再熱”ビジョン策定  
(平成27年度取り組み)
4. ビジョンの実践活動  
(平成28年度取り組み)
5. 事業の成果と今後の見通し

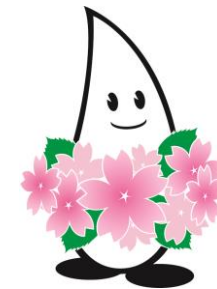


# 1. 伊那市の取り組み紹介



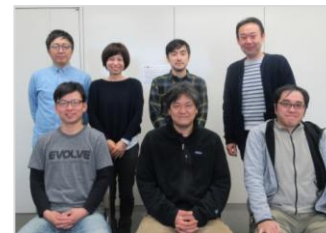


# 1. 伊那市の取り組み紹介(1)



移住希望者等

各課等・  
各団体へ



伊那市地域創造課  
移住・定住相談窓口  
(ワンストップ窓口)

地域おこし協力隊 7名  
(隊員ごと 担当課)

集落支援員 2名  
・移住定住コーディネータ  
・空き家アクティベータ

田舎暮らしモデル地域  
(新山地域・溝口区)

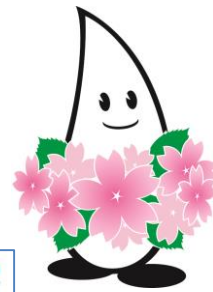
空き家バンク制度 等

移住応援サイト  
いい川、いい山、いい街あります！

伊那に住む



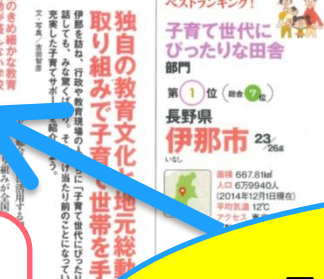
# 1. 伊那市の取り組み紹介(2)



伊那市＝山岳と農業と教育のまち



田舎暮らしの本  
2015年2月号(宝島社)  
「子育て世代にぴった  
りな田舎 全国第1位」



日本「住みたい田舎」  
ランキング 3年連続県内1位  
(3年連続全国ベストテン)  
「子育て世代」部門は  
2年連続全国1位



KURA  
2015年7月号(まちなみカントリープレス)  
「子育てを助けるまち」



広報ながのけん  
インターネット版2015年6月号(長野県)  
「子育ての適地として評価」



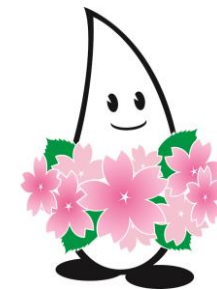
AERA  
2015.9.14号(朝日新聞出版)  
「移住しやすさ★★★★」



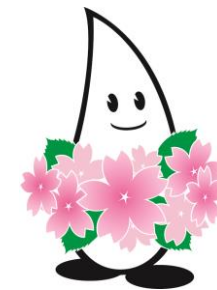
NHK「あさいち」2015年5月7日放送  
「子育て世代の“いなか”移住ライフ」  
など、テレビでも放映



## 2. 新山地区の紹介と 事業採択までの取り組み



# 2. 新山地区の紹介と 事業採択までの取り組み(1)



ハッチョウトンボ



新山保育園

集落名	世帯数	人数	高齢者数(比率) 【65歳以上】	年少者数(比率) 【0～14歳】
上新山区	135世帯	372人	146人(39.2%)	40人(10.8%)
北新区	105世帯	319人	110人(34.5%)	27人(8.5%)
地区全体	240世帯	691人	256人(37.0%)	67人(9.7%)

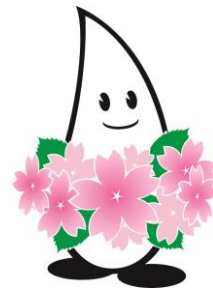


新山小学校

H27.10住基



## 2. 新山地区の紹介と 事業採択までの取り組み(2)



- 「新山の小学校・保育園を考える会」(H21)  
⇒「新山定住促進協議会」へ発展(H26)  
⇒伊那市「田舎暮らしモデル地域」指定(H27)

### 田舎暮らしモデル地域

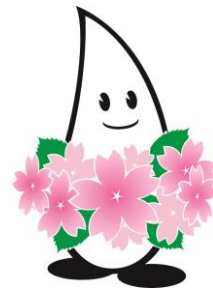
住民(と行政区)が、積極的に移住・定住に取り組む地域を指定。

- 地域の課題抽出や  
実際の取り組みのため  
県へ事業公募⇒採択





## 2. 新山地区の紹介と 事業採択までの取り組み(3)



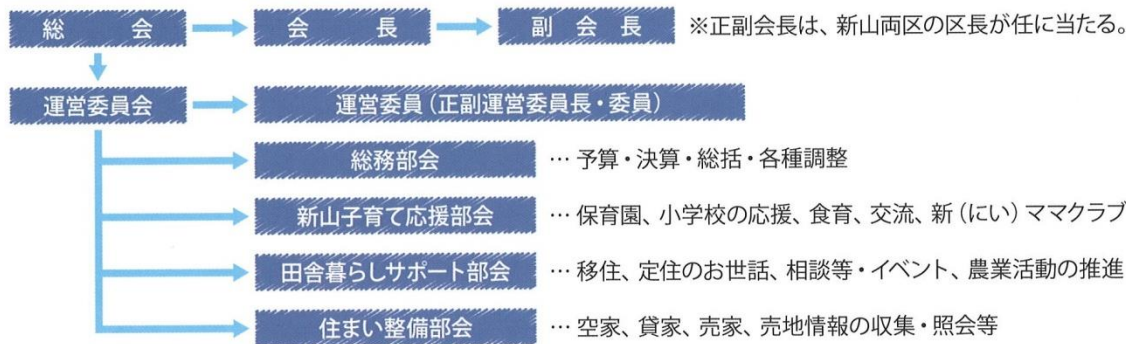
### 「新山定住促進協議会」の主な活動

- 新山への移住(U、Iターン)を促進し、定住人口の増加を図る。
- 定住しやすい地域を形成する。
  - 地区の魅力再発見と、積極的な情報発信
  - 子育ての応援
  - 定住者のサポート
  - 移住者のための空き家、住宅用地の相談、照会等
- 新山保育園及び小学校を中心とした地域づくり活動の実施。

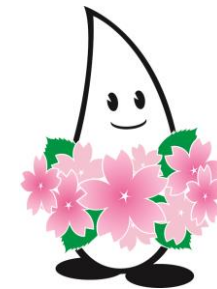
## 新山定住促進協議会

会員約60名  
住民有志の会だが、新山2区の  
総意を得て設立、運営されている。  
(正副会長は2区の区長)

### 新山定住促進協議会の組織図



# 2. 新山地区の紹介と 事業採択までの取り組み(4)



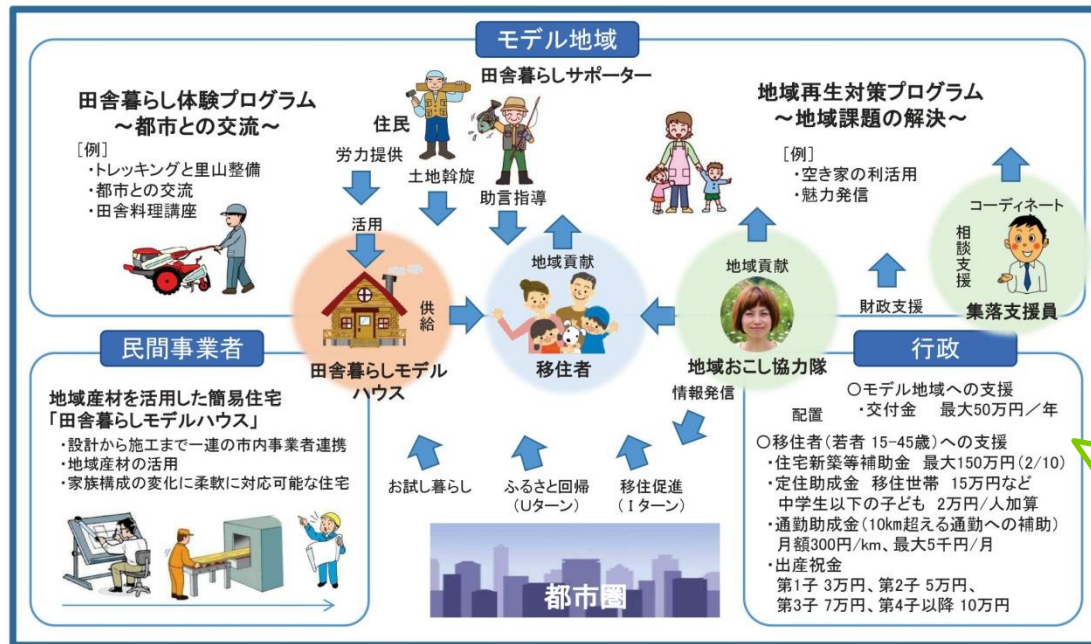
## (参考)伊那市田舎暮らしモデル地域

①制度の概要 (田舎暮らしモデル地域事業)

3

目的

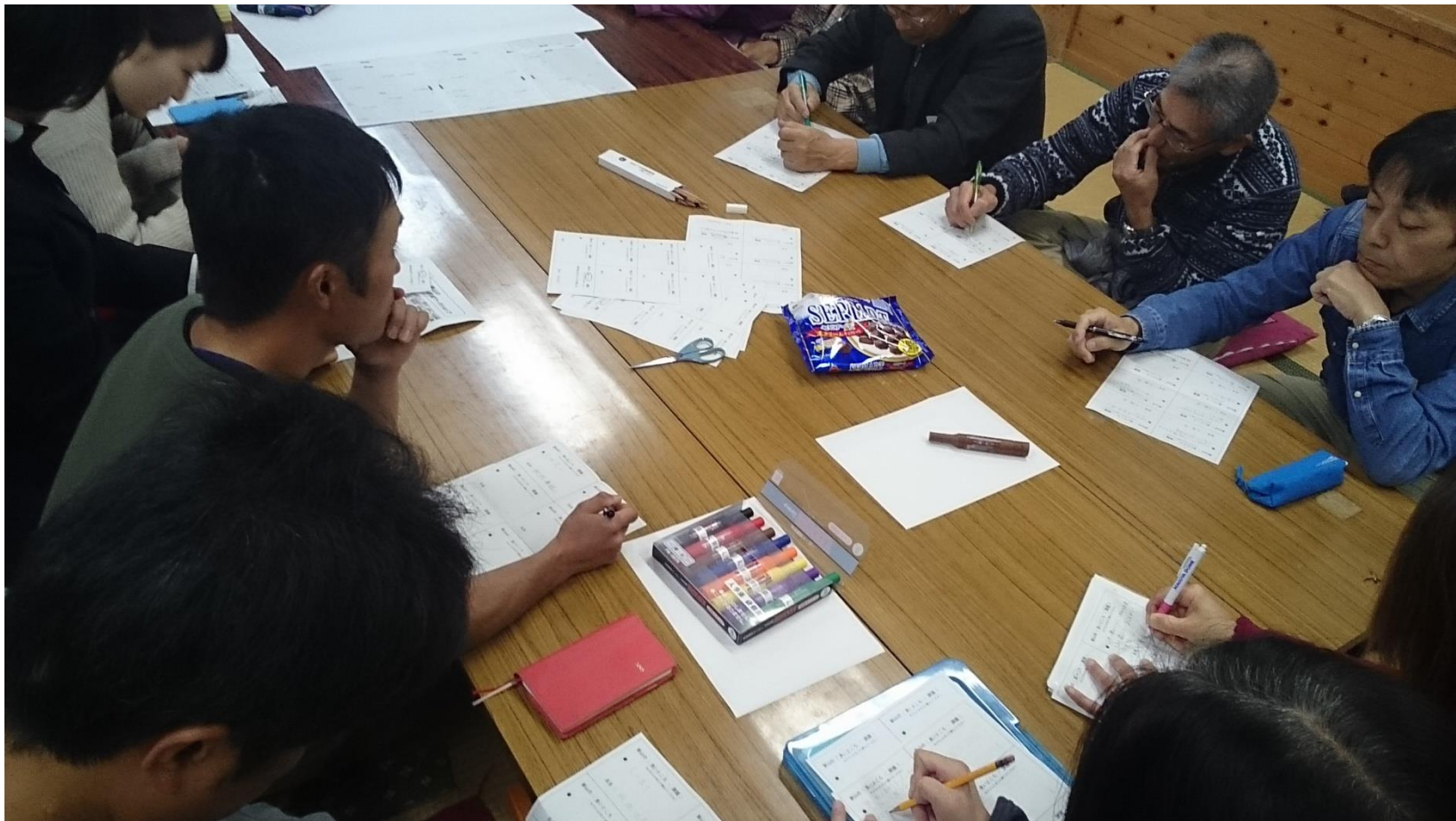
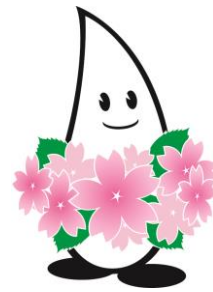
地域住民・行政・民間事業者との協働で、  
移住者の受入体制を確保する。



### 移住者への支援

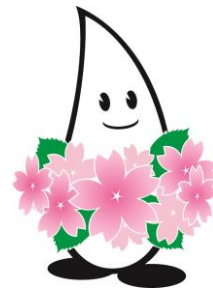
- ・住宅新築等補助金
- ・定住助成金
- ・通勤助成金
- ・出産祝金

# 3. “再熱”ビジョン策定 (平成27年度取り組み)





# 3. “再熱”ビジョン策定 (平成27年度取り組み)(1)



## 新山地区“再熱”ビジョン

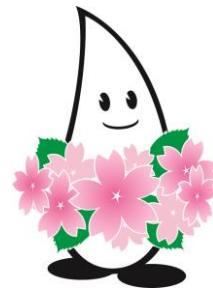
より多くの「魅力」を  
コミュニケーションする新山地区



### 【目標達成に向けた具体的な事業】

- ① 交流の場としてのコミュニケーション環境づくり
- ② 都市との交流を進める環境整備
- ③ 田舎暮らし体験、また空き家等の物件活用
- ④ 「魅力」を発信していく活動

# 3. “再熱”ビジョン策定 (平成27年度取り組み)(2)



## 【事業実施の体制】

新山定住促進協議会(事業の主体)



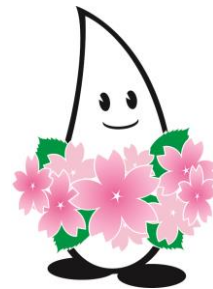
### 伊那市(事業の支援)

- ・集落支援員によるコーディネート
- ・地域おこし協力隊の設置
- ・田舎暮らしモデルハウスの整備
- ...

### 外部団体など

- ・長野県
- ・伊那市社協
- ・上伊那農業高校
- ・上伊那森林組合
- ・上伊那木材組合
- ・伊那不動産組合
- ...

# 3. “再熱”ビジョン策定 (平成27年度取り組み)(3)

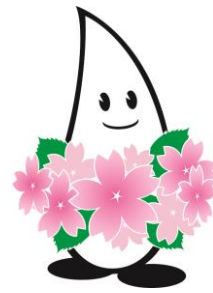


- 「“再熱”ビジョン策定ワークショップ」実施  
⇒全3回、のべ約100名参加  
(地区住民、高校生、社協、県・市職員等)
- ビジョン策定時の説明会を地区で実施





### 3. “再熱”ビジョン策定 (平成27年度取り組み)(4)



- 先進地視察の実施(千葉県いすみ市)
- 専門家による地区での研修会の実施
- 都市との交流プログラムのパイロット実施



いすみ市・NPOLいすみライフ  
スタイル研究所へ視察

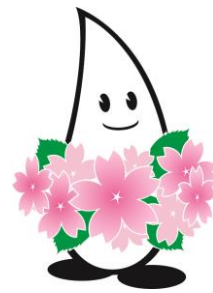


不動産活用に関する研修会  
(講師:伊那不動産組合)



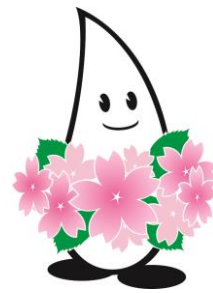
鹿肉ジャーキーの試食会

# 4. ビジョンの実践活動 (平成28年度取り組み)





# 4. ビジョンの実践活動 (平成28年度取り組み)(1)



## ①交流の場としてのコミュニケーション環境作り

★ICT・路線バスでの交流機会づくり

★話し合う場、直売所等の整備に向けて



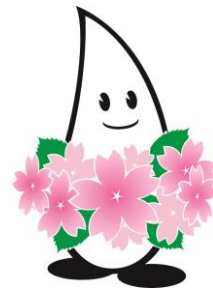
**新山いきいきマーケット**  
商店街～新山地区間でテレビショッピング  
(生中継)⇒商品は路線バスで配達



各地の視察受け入れや、  
地区内外へ協議会で出展



# 4. ビジョンの実践活動 (平成28年度取り組み)(2)



## ②都市との交流を進める環境整備

★鹿や炭などの地域産品づくり

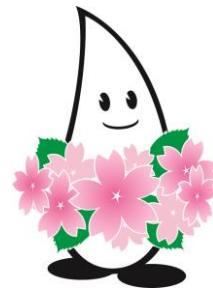
★都市との交流プログラムの実施



鹿肉商品でいあでいあ  
上伊那農業高校が昨年末より販売

大学生インターンシップ受け入れ  
地区の魅力などをプログラム化するよう、  
県および跡見学園女子大学と実施

# 4. ビジョンの実践活動 (平成28年度取り組み)(3)



## ③ 田舎暮らし体験、また空き家等の物件活用

★ 田舎暮らしモデルハウスの活用

★ 空き家情報の集約、提供

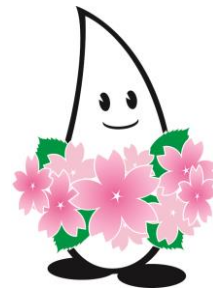


田舎暮らしモデルハウスでのイベント



移住希望者に地区の空き家物件を案内

# 4. ビジョンの実践活動 (平成28年度取り組み)(4)



## ④「魅力」を発信していく活動

★地域のパンフレット作り

★ホームページなどでの情報発信



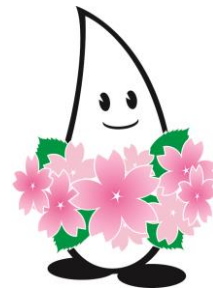
住民が企画制作した地区案内パンフレット



協議会HPで情報発信



# 4. ビジョンの実践活動 (平成28年度取り組み)(5)

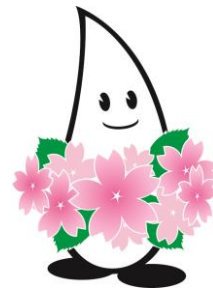


- 新山定住促進協議会の活動の広がり
  - ⇒ 企画～実践～記録・広報の流れができる
  - ⇒ 市の活動(モデルハウス等)との連携
  - ⇒ 地域おこし協力隊を含めた、移住者と地域在住者の交流へ発展
    - ・「新(にい)ママクラブ」
    - ・協力隊ブログ 等
- 地域と行政との連携

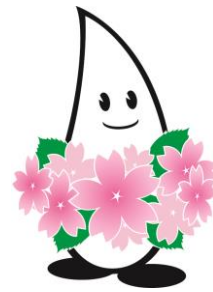


今どきの“婦人会”「にいママクラブ」が発足

# 5. 事業の成果と今後の見通し



# 5. 事業の成果と今後の見通し(1)



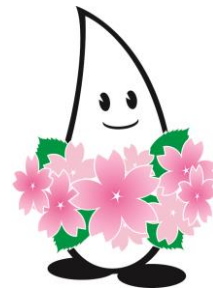
- 新山定住促進協議会が関わった移住者数  
H27... 21名 ※H28 ... 6名(12月まで)
- 新山小学校(H27-28)...児童30名のうち、地区外から3名転入
- 新山保育園(H27-28)...園児26名のうち、地区外から2名転入
- 協議会活動も活発に継続

(数字は、新山定住促進協議会による)





# 5. 事業の成果と今後の見通し(2)



- 新山地区へのプロモーション発展  
⇒県移住モデル地域に指定(H28.12)
- 特産品開発の継続、販売
- 都市との交流プログラムの発展、  
継続
- 地域が無理なく継続できる移住  
(U・Iターン)受け入れ



**今後も、新山地区の取り組みは続いていきます  
ご清聴ありがとうございました**